

地域資源を生かした中山間農業の活性化

四国経済連合会参与(独農業・食品産業技術総合研究機構近畿中国四国農業研究センター四国研究センター四国農業研究監)

河合 章



四国内を回ってみると、山が海岸まで迫っているところが多く、中山間地ではここまで開いたかと思われるところまで、傾斜地に果樹園、畑や棚田が開かれています。傾斜地という農業生産に不利な条件を長い歴史の中で克服し、さらに傾斜地の特性を利用した生産が古くから行われており、我が国の代表的な傾斜地農業地帯となっています。

近年も、新たな傾斜地農業技術が開発されています。ウンシュウミカンでは夏から秋に雨が少ないと、糖度が高くおいしくなります。そこで、地表面をマルチシートで覆って降雨を遮断し、ドリップ灌水システムにより適度な灌水と液肥による施肥を行うマルチ・点滴かん水同時施肥システム(マルドリシステム)が開発されました。また、傾斜地カンキツ園の園内作業道の簡易造成法、急傾斜果樹園での作業の軽労化体系等も開発されました。本来、傾斜地は水捌けが良く日当たりも良いため、高品質のカンキツ生産には適していますが、作業が大変でした。軽作業化と高品質な果実を作ることにより、高収益を上げることができるようになりました。

また、中山間傾斜地は標高が高いため、夏の

気温が低く、平地では作りにくい夏秋期のトマト生産が行われていましたが、病気や気象災害により生産が不安定でした。そこで、傾斜地にも設置できる平張型傾斜ハウスが開発されました。建築工事現場の足場鋼材を用いることにより、安価で、風に強く、しかも傾斜地の地形に合わせて作ることができます。傾斜を利用した、無動力の養液栽培装置も開発されました。これらにより、中山間傾斜地での夏秋期のトマトの安定生産が可能となりました。

傾斜地は作業が大変で農業に不利な地域ですが、日当たりの良さ、夏期の低温、斜面風等の有利な地域資源もあります。軽作業化によりさらに作業を容易にし、傾斜地に特有の地域資源を生かして高品質な作物を作ることにより、高収益をあげることで、四国の中山間地域をさらに活性化することができます。

私たち近畿中国四国農業研究センター四国研究センターも、善通寺の地で中山間・傾斜地農業の活性化のための技術開発を目指した研究を進めております。今後ともご支援ご協力をお願いいたします。